

## 地域の概要



市街地周辺に多くの住宅団地が開発されたが、子世代の転出などによって人口減少や高齢化が顕著となっており、店舗等の減少やバス便の減少など、様々な地域課題が生じている。市総人口も減少傾向。高齢化率29.3%（R7時点）。

## 取組のきっかけ

「住み慣れた地域で安心して老後をくらしたい」、「ちょっとした手助けがあれば自立した生活ができるのに」等1986年に組合員の声から始まった助け合い、支え合いの活動。

## 取組の目的

- 会員同士の心のふれあいを大切に、おたがいを尊重し、思いやりの態度を忘れないように心がける
- 活動会員は「資格がなくてもできることを」「できるときに」「すこしでもお役に立てれば」という気持ちで活動
- 自立を妨げることがないように気を付け、援助希望会員ができないこと、困っていることを手助けする

## これまでの経緯

年・月	出来事
昭和61年	生活協同組合コープかごしまの15周年記念のひとつとして支えあい活動団体が発足し、助け合いの活動が始まる
平成28年	市の「生活支援支え手育成モデル事業」に申請
平成31年	活動会員4名がみんサポ応援講座（支えあい活動従事者研修会）を受講。
平成31年	鹿児島市支えあい活動補助金の申請を行う
	活動会員のサポートとして、勉強会（月1回）、交流会（年2～3回）を実施
	また、定期的に活動会員登録説明会を開催し、活動会員を利用人数の倍の人数になることを
	目標として日々活動している

## 活動の概要

- ◆ **活動内容**： 調理、掃除、ごみ出し、洗濯、買い物、庭の手入れ、外出付添、衣類整理
- ◆ **活動範囲**： あさがお→市内北部地域、ひまわり→市内中部地域、かすみ草→市内南部地域
- ◆ **利用料**： 700円/1時間（年会費：1,000円）
- ◆ **対象者**： 会員
- ◆ **構成員**： あさがお 45名、ひまわり 37名、かすみ草 41名（R6年度）
- ◆ **利用人数**： あさがお 31名、ひまわり 37名、かすみ草 32名（R6年度）
- ◆ **活動に関わった人・団体**
  - コープくらし助け合いの事務局と連携・協働（利用調整等事務の一部委託）
  - 活動会員のサポートとして、活動事例や介護保険、傾聴、認知症等を学んだり、交流する場として年4回の学習交流会を開催

## 取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

### 〔行政担当者としての役割〕

- 事業の枠組み、仕組み作り
- 周知広報（HP等に事業内容掲載）
- 担い手育成  
（支えあい活動従事者研修会実施）

### 〔SCとしての役割〕

- 活動に関する相談
- 活動状況の把握
- 支援が必要な方とのマッチング
- 補助金に関する事務手続きのサポート

## 現時点での到達点（効果・課題など）

### 〔効果〕

- 利用者の言葉が励みになる。  
特に活動員は直接的に感謝を受け取れるので、活力になる
- 利用者の方に笑顔が増えるなど変化を感じることができる

### 〔課題〕

- 活動の担い手を増やすこと
- 活動時間外の活動依頼もあり、活動員が日程を合わせる場合があること